

実証テーマ案の概要

・事務局検討案（No.1-20）（第1回委員会資料）、及び社員企業ヒアリングをもとにした実証テーマ案（No.21-38、第2回委員会資料）をもとに、計38の実証テーマ案を整理しました。内容が一部重複しているものもありますが、最終的にはグルーピングして整理します。

表 実証テーマ案の概要

項番	実証テーマ	概要
1	外国人観光客	・wi-fi 設置箇所や飲食店情報や公共交通情報などの様々な情報をオープンデータ化することで、訪日外国人旅行者が安心して快適に、移動・滞在・観光することができる環境を提供する。日本への満足度を向上させるサービスの創出を目指す。
2	障害者・社会的弱者	・公共交通バリアフリー情報や公共施設のトイレ位置情報などを提供することで障害者・社会的弱者のシームレスな移動を実現。障害者・社会的弱者が不自由を感じない社会をつくる。
3	子どもの教育	・最新のデータやコンテンツの提供、近隣地域の様々なデータを用いた教材による比較学習教育等を通じ、子供たちの学習効果を高める方策を検証。教育の ICT 化を図る。
4	子どもの安全・安心	・過去の交通事故の発生箇所や犯罪情報のデータを活用することで、保護者又は子供が注意すべき場所等を発信。子供にとって安全な社会の実現を目指す。
5	食	・日本の食に関するコンテンツをオープンデータとして世界に発信し、日本の食文化への理解を深める。日本食の海外展開に寄与させることを目的とする。
6	公共交通	・鉄道、バス、その他の交通機関の運行状況データを相互利用することで、マルチモーダルによる適切な代替移動手段を利用者が簡便に検索し利用できる仕組みをつくる。
7	道路交通	・過去の渋滞実績と渋滞メカニズムなどを基に、混雑情報や事故情報などを活用して、個々の車の誘導（カーナビの指示）や、信号制御などにより、渋滞を軽減する仕組みを検証。
8	環境マネジメント	・気象情報や地理空間情報を活用したゲリラ豪雨対策の検証やエネルギー消費情報の見える化による効率的なエネルギー消費の方策を検証。

項番	実証テーマ	概要
9	ヘルスケア	・自治体に蓄積された国保の健診データ、ヘルスケアのサービスを受ける本人の経年での健診データ、病院等の受診に係る診察データ、治療や投薬の経過データを用いることで、個人単位のヘルスケアサービスを実現。
10	医療	・地域内に存在する各病院や保健所の感染症罹患情報などを用いて感染者数をリアルタイムに把握し、地域内の公共施設などの感染リスクを予測。
11	防災	・気象情報や地理空間情報をもとに、災害の発生と、その被害がどのようなものになるかを予測し、災害規模に合わせたスムーズな避難を実現。避難計画や避難後の支援計画の策定へとつなげる。
12	マーケティング	・行政の保有するイベント情報、施設情報、メッシュでの統計情報等を民間の保有するデータと組み合わせることで、精度の高いマーケティングやビジネスモデルの構築に活用。
13	企業の輸出促進	・海外展開が進んでいる企業が活用しているデータ及びその入手方法と、農林水産省や JETRO などが公開しているデータ、企業などが有償で販売・調査しているデータなどを比較・検討することで、有効なデータ提供方法などを実証。企業の海外展開が加速されるデータ環境の整備を図る。
14	生産技術	・第二次産業に従事する人を対象としたアイデアソンなどを通して、生産技術向上に必要なデータの収集、ツールの構築を実施。
15	コミュニケーションロボット	・ネットワーク対応型（クラウド対応型）のコミュニケーションロボットをベースに、外出に係る情報収集と提案、家電の適切な制御（擬似制御を含む）等のサービスを検証。
16	オープンサイエンス	・科学技術が停滞することなく、進歩し続ける社会を目指し、研究データを収集するプラットフォームを提供。プラットフォームを通じて研究の引き継ぎ等を行える仕組みを作る。
17	海洋関係	・オープンデータである気象データや海象データをもとに、気候・積載物に適してかつ燃費の安い効率的な海上輸送手段の確立や海上輸送路の効率性についてのシミュレーションを実施。
18	宇宙	・NASA や JAXA が提供するデータを利用して、小中学生が、宇宙や地球への関心を持てるツールを開発し、模擬授業（課外活動、民間による学習サービスなど）を行って学習効果（子どもの宇宙・地球への関心向上）を検証。

項番	実証テーマ	概要
19	オリパラ競技関係	・競技に関する情報や競技結果、競技会場周辺の交通情報をアプリ等によって配信することで、オリンピック・パラリンピックへの満足度の向上や来場者の安全かつ円滑な移動を実現。
20	競技施設の後利用	・施設情報（利用状況など）、イベント情報を用いて、競技施設や跡地などを多面的に有効利用しつつ、適切な管理・リノベーションを行い、スポーツの振興や都市・地域の活性化につなげる。
21	海外への地域の魅力発信と観光地でのおもてなし情報提供による海外観光客誘致	・現在、様々な主体が発信している、外国人から見た日本の魅力（例：季節ごとの景観、多様な地形、無形文化財、温泉、美味しい日本酒や郷土料理など）に関する情報をオープンデータ化し、目的に応じて自由に組合せて活用できる仕組みづくり。
22	イベント・観光情報提供を中核とした地域活性化	・地域のイベント・観光情報などを、スマホアプリなどを介して多言語でわかりやすく提供することで、訪日観光客の増加や回遊性・滞在時間の向上を図る。
23	訪日外国人観光客に対する情報提供サービス	・自治体などが保有する観光情報をオープンデータ化し、民間等による再利用を促進して、様々なチャネルでの配信を可能にする。
24	体験型観光	・訪日外国人の体験型観光（禅、日本酒醸造、工芸品制作、イチゴ狩りなど）へのニーズの高まりに対応し、体験プログラムの紹介や体験者のコメント、費用、アクセスなどの情報を多言語で発信。
25	ふるさと魅力配信事業	・日本の魅力ある地域資源に関する情報などを多言語で海外に発信し、投資を呼びこむ。
26	海外消費者へのトレーサビリティ情報の提供による日本の農産物高付加価値化（ブランド化）	・日本の一等米にトレーサビリティ情報を付加して付加価値を高め、ブランド米としての海外販売を強化する。
27	LOD 活用による農畜産業の振興	・農地、酪農、養鶏等に関する生産実績や育成条件、気象データなどを RDF 化し、生産予測や生産計画立案、農地選定などに活用。
28	ICT スポーツ	・例えばスキー場でスキーヤーが GPS を携帯することで、ゲレンデ毎の混み具合や友人の居場所、自分の滑走記録などがわかるサービスを提供する。コースの難易度、天候、リフト、レンタル器材、レストラン・ショップなどの情報と組合せることで、自分にあったコースを選択したり、事前に料理を注文したりできる。他にもダイビング、釣り、マラソン、祭りなどのイベントにも応用可能。

項番	実証テーマ	概要
29	糖尿病予備軍に対する重症化予防	・レセプトデータ等を活用して糖尿病予備軍を抽出し、民間の健康増進サービスなどを斡旋。
30	高度なリアルタイムナビゲーション	・公共交通の運行情報や道路占有許可、自動車のプローブ情報などをオープンデータ化し、高度なナビゲーションを提供。
31	地域住民へのわかりやすい災害リスク情報提供と避難誘導による減災	・地域の災害リスクに関する情報をわかりやすく正しく伝えることで、災害に備えるとともに、災害発生時の避難誘導や、避難所の状況把握、支援物資の的確な提供などを実現。
32	災害時における避難誘導支援	・プローブデータなどを活用した道路の通行可否状況、災害情報、気象情報、避難所情報などをオープンデータ化し、適切な避難誘導や支援活動などに活用。
33	高齢者や身障者向け移動支援	・バリアフリー道路マップ、バリアフリー対応施設、多機能トイレなどの情報をオープンデータ化し、高齢者や身障者向けサービスを充実。
34	プログラミング教育による人材の育成とイノベーションの促進	・基礎学力として、プログラミング教育カリキュラムの導入・充実を図り、「プログラミングができる各分野の専門家」を育てる。
35	子ども連れ家族向けサービス	・託児施設、子どもが遊べる公園・児童館などの情報をオープンデータ化し、子供連れ家族向けサービスを充実。
36	公共インフラの異常発生の早期検知・長寿命化	・公共インフラの点検・補修情報を一元管理し、点検業務を効率化。センサー、カメラ、SNS などを活用して、危険の早期検知や長寿命化を実現。
37	オープンデータを活用した複合的空き家対策	・空き家や遊休農地などの情報をオープンデータ化し、就農支援などの情報と組合せて提供することで、希望者への斡旋を促進する。
38	不動産取引等の活性化	・建築計画概要書、周辺環境情報、地盤情報などをオープンデータ化し、不動産取引の際の意思決定支援や、地域ビジネス検討などに活用。